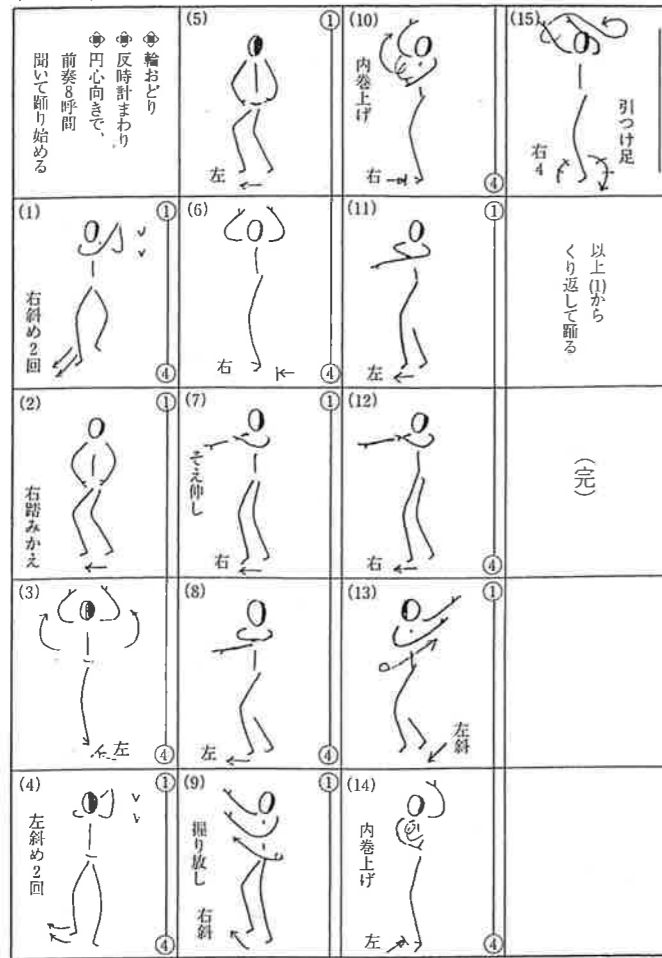


(鑄物音頭)



島来展也 作詩、水原英明 作曲、甲斐靖文 編曲

いものおんど
4 鑄物音頭

小野田 実
村松美津絵

コロムビア・オーケストラ

誰が言ったか 聞かせたか (ソレ)
鑄物川口 日本一
トコチャラリコ まったくだ
そうだ そうとも 昔も今も (ヨイシヨ)
つきぬ栄誉の 花が咲く ほんとだね
(以下はやし言葉省略)

すいてすかれて 相ぼれて
逢にくるくる 逢に来る
トコチャラリコ まったくだ
意気で仕上げて 情けでおくる
送る鑄物の 品のよさ ほんとだね
品のよいので 愛されて
鑄物川口 恋の町
トコチャラリコ まったくだ
夢は七色 ネオンにもえて
またの逢う瀬の 胸をやく ほんとだね
さっさ寄らんせ 来やしゃんせ
鑄物音頭の 輪がのびる
トコチャラリコ まったくだ
そろう歌声 手拍子すがた
月も見とれる 紅だすき ほんとだね
(演奏時間 3分03秒)

荒川の流れをはさんで、東京都と隣接する川口市は「キューボラのある町」として、全国的に有名になっている。埼玉県屈指の大都市である。

鑄物の町として発展した「川口」は、荒川が運んできた「川砂」が、鑄物製品を作る型材料として、最適のものであったからである。第二次世界大戦後、沈滞した市民の気風を盛り上げようと、川口市と川口商工会議所の肝入りで、川口音頭とともに制作されたのが、この「鑄物音頭」である。島来展也氏作詩、水原英明氏作曲の新民謡である。踊りの動作に、「たゝら」を踏む仕草や、砂を投げる形が取り入れられているが、これらは、すべて「鑄物を作る過程」の動作である。

踊り方解説

- ◆ 隊形：輪おどり。(正面踊りでもよい)
- ◆ 進行方向：反時計回りに進む。
- ◆ 踊り始め：円心向きに立ち、前奏8時間聞いて踊り始める。
- ◆ 踊り方
- ① 左肩の前で右手で左手を打つと同時に、右足を右斜め前に蹴り出す。以上をもう一度行う。
図(1) …… 4呼間
- ② 右足を、その場で右向きに踏みかえ、体を右に回し。図(2) …… 2呼間
両手あけて腿を打ち頭上に「あけかざし」、左足を右足に揃え一束となり、やや円外に向く。
図(3) …… 2呼間
- ③ 円外向きから①・②を反対動作で行い、再び円心向きとなる。図(4)(5)(6) …… 8呼間
- ④ 進行方向に向きながら右足前進。右手を前に伏せ伸ばし、左手を伏せてその二の腕に添える。図(7)

- ⑤④の反対動作を行う。図(8) …… 2呼間
 - ⑥ 右足を右斜め前に爪立て、両手左斜め下より握り放して右斜め上にあける。図(9) …… 2呼間
 - ⑦ 両手を大きく内巻きに回して、右手頭上にあけかざし、左手は、手首を立て胸前から、体前低く押し出し、右足を左足に踏み揃える。図(10) …… 2呼間
 - ⑧④・⑤・⑥の反対動作で、同じ方向へ進む。図(11)~(14) …… 8呼間
 - ⑨ 両手、掌を向き合わせ、並行に上方に上げ、8の字をかくように合わせ振りかえながら、右足から(引きつけ足)で4回、右に回って円心に向く。図(15) …… 8呼間
- 以上をくり返して踊る。